

気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議を設置します

- 本市では、地球規模で広がっている海洋プラスチックごみ問題に対し、「海と生きる」気仙沼として、全国に先駆けた取組を目指し、気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議を設置します。
- 本会議が目指すものは、本市総合計画に掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の推進にも資するものです。
- 推進会議は、7月までに3回開催し、「海洋プラスチックごみゼロ」に向けた取組を検討し、広く推進してまいります。
- 推進会議の構成は、学識経験者をはじめ、漁業関係団体や事業者、消費者、環境団体、関係機関など21団体の予定です。
- この一環として、海洋プラスチック問題について、市民や関係者の皆様の理解を深めるため講演会を開催します。

【概要】

1 趣 旨

海洋プラスチックによる海洋汚染は、本市の基幹産業である水産業への影響も懸念され、「魚食健康都市」や「スローフード」を宣言し、「海と生きる」を標榜する本市としても身近で重要な問題として捉えており、“海洋プラスチックごみゼロ”に向けた先駆的な取組とSDGs(持続可能な開発目標)の推進を目指すものです。

2 会 議 名 気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議

3 開催日時 令和元年5月22日(水)午後1時30分から

4 開催場所 気仙沼市役所第1・第2会議室

5 議 題

- (1) 気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議について
- (2) 海洋プラスチック問題について
- (3) プラスチック対策の取組状況と課題について
- (4) 基本方針(案)と重点取組(案)について

※海洋プラスチック対策に特化した組織を立上げ、市民や事業者の方と一体となった取組を目指すのは、県内では初の取組となります。

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

【講演会】

1 気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー5thシーズン第5回」

- ・日 時 令和元年5月22日（水）午後3時～
- ・場 所 市役所ワン・テン庁舎 大ホール
- ・テーマ 「海洋プラスチックごみに関する調査研究の現状と課題
～マイクロプラスチックについて分かっていること、まだ分からないこと」
- ・講 師 東京海洋大学 理事兼副学長 東海 正 氏
(漁業におけるプラスチック資源循環問題対策協議会 委員 (水産庁))

2 海洋プラスチック問題に関する講演会

- ・日 時 令和元年5月30日（木）午前10時～
- ・場 所 まち・ひと・しごと交流プラザ 軽運動室
- ・演 題 「海と生きる気仙沼
～海洋プラスチック問題にどう取り組むべきか」
- ・講 師 大学院大学至善館 教授 枝廣 淳子 氏
(中央環境審議会 循環型社会部会 委員 (環境省))